

東リグループは新たな価値を創造し、 心豊かな空間環境づくりに貢献します。

2030年のあるべき姿へ向けて

人々のライフスタイルをデザインする 企業グループへの進化を目指して

当社グループは1919年に東洋初のリノリウム製造会社として創業し、以来、インテリアを通じて人々の心豊かな空間環境づくりに貢献すべく事業活動を推進し、ビニル系床材、カーペット、カーテン、壁装材と事業領域を拡げ、さまざまなシーンで時代に合わせた新たな価値を提案し続けております。近年、気候変動やパンデミック、地政学リスクの高まりなど、これまでに経験したことのないスピードでの環境変化によって、先行きの見通しにくい、混沌とした情勢が世界を取り巻いています。そのような時代においても、住生活を装うインテリア事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献すべく、2030年のあるべき姿<TOLI VISION 2030>～ライフスタイルをデザインする企業へ～を掲げました。創業から100年の歴史で積み上げたモノづくりのレガシーや信頼を糧として、人々の生活になくてはならない新たな価値を創造し続けることで、世界の人々へ潤いのあるライフスタイルを提案してまいります。

<TOLI VISION 2030>では、基本方針に3つのSHINKA(進化、深化、真価)を掲げ、特に「真価」では、社会貢献に適う事業活動を推進し、「人」を中心とする企業価値の向上に力を置くこととしました。長期ビジョン達成に向けて、フェーズ毎の中期経営計画を着実に推し進め、事業活動における経済的価値の拡大と、社会的価値の拡大との両立を図り、東リグループの進化をサステナブル社会の実現に繋げてまいります。



代表取締役社長
永嶋 元博

中期経営計画におけるCSR活動の位置付け

激動する環境変化に挑み、
1つ1つの取り組みを着実に進めていく

長期ビジョン<TOLI VISION 2030>に向けた第1フェーズ、中期経営計画「SHINKA Plus ONE」の初年度(2021年度)は、長引くコロナ禍に加え、世界的なサプライチェーンの混乱や原材料価格高騰など、激動の1年となりました。そのような状況下におきましても、企業の社会的責任(CSR)に対する取り組みは「まったなし」の最重要課題と捉えています。具体的にはタイルカーペット完全循環型リサイクルの拡大やタイルカーペット用原着ナイロン紡糸設備の本格稼働など、モノづくりを通して社会の持続可能性を高める取り組みに注力しております。

CSR活動の強化テーマである「社会的課題の解決と事業活動の一体化」は、特定の部門や特定の人間が担うものではありません。従業員からの提案制度など、小さな積み重ねを尊重し、問題意識を共有しながら解決へと導く組織推進力を強化してまいります。

持続可能な社会の実現に向けた取り組み

「未来の成長と安心」に向けた 多面的な取り組みとイノベーション

持続可能な社会の実現に向けたCSR活動の中でも、当社グループは環境負荷低減への取り組みを最も重要なテーマに位置づけています。地球環境保全に繋がる事業活動をモノづくり企業の責務であると認識し、これまで積み上げてきた技術やノウハウをさらにレベルアップいたします。中でも事業活動におけるリサイクル率の向上と産業廃棄物排出量の削減を重要な経営指標として掲げております。歴史をさかのぼること135年前(明治20年)、大量廃棄されていた稲わらを再利用した「由多加織」の製造が当社創業の原点です。現在では、農薬用ビニルシート廃材などのビニル系床材での再利用や

タイルカーペトリサイクルプラントによる工場内廃材の削減と市中廃材の積極的回収、環境配慮型製品の開発などに取り組んでおります。創業以来の環境親和性を企業のアイデンティティとし、地球環境保全に繋がる事業活動を着実に進展させてまいります。

世界各国のエネルギー施策に絡んだ気候変動対応問題など、未来に向けた地球環境保全への取り組みは、まだまだ緒についたばかりです。2050年に向けて進むカーボンニュートラルへの挑戦にはさまざまな視点での取り組みと技術革新(イノベーション)が求められます。トライ&エラーを繰り返し、イノベーションに前のめりの姿勢で臨んでこそ「未来の成長と安心」を獲得できるという信念のもと、積極的にチャレンジしてまいります。

そのためには、従業員一人ひとりが常に問題意識へのアンテナを張り巡らし、「ジブンゴト」として捉えることが大切です。グループ一丸となって一步一步着実に歩みを進めていくことで、サステナビリティの向上に努めてまいります。

当社グループは事業活動に関わるすべてのステークホルダーの皆さまの希望に満ちた未来に貢献することを第一とし、そのさまざまな取り組みを「東リCSRレポート」としてご報告いたします。皆さまの更なる信頼を得られますよう、グループ一体となったCSR活動に邁進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

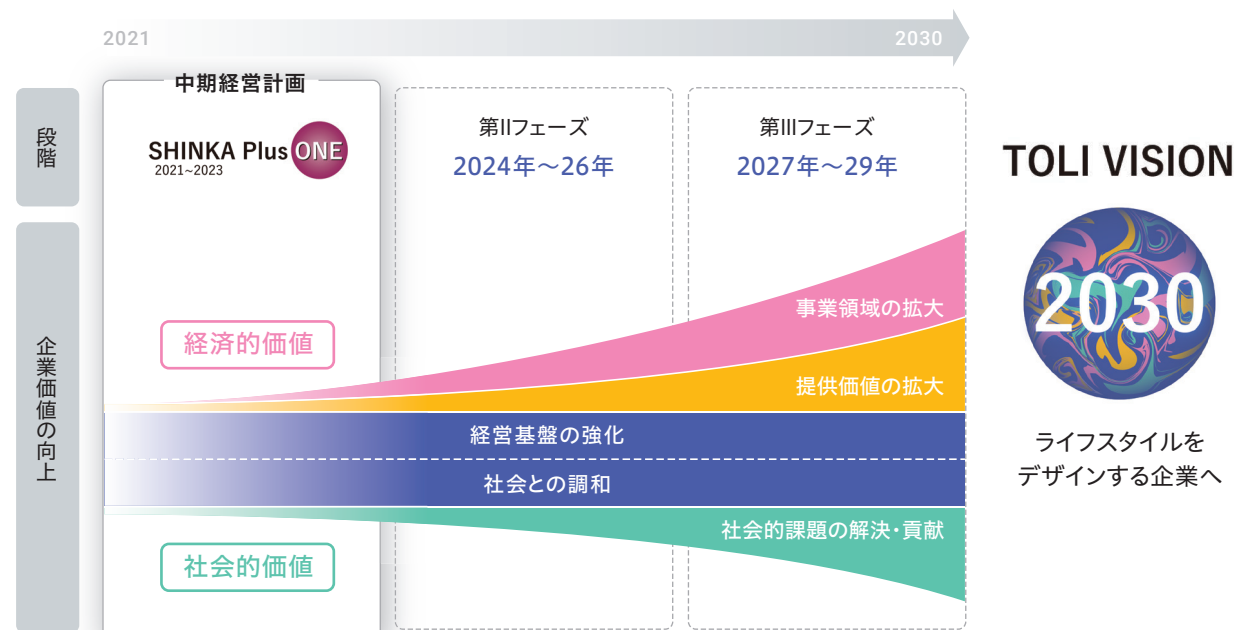
代表取締役社長

永嶋元博

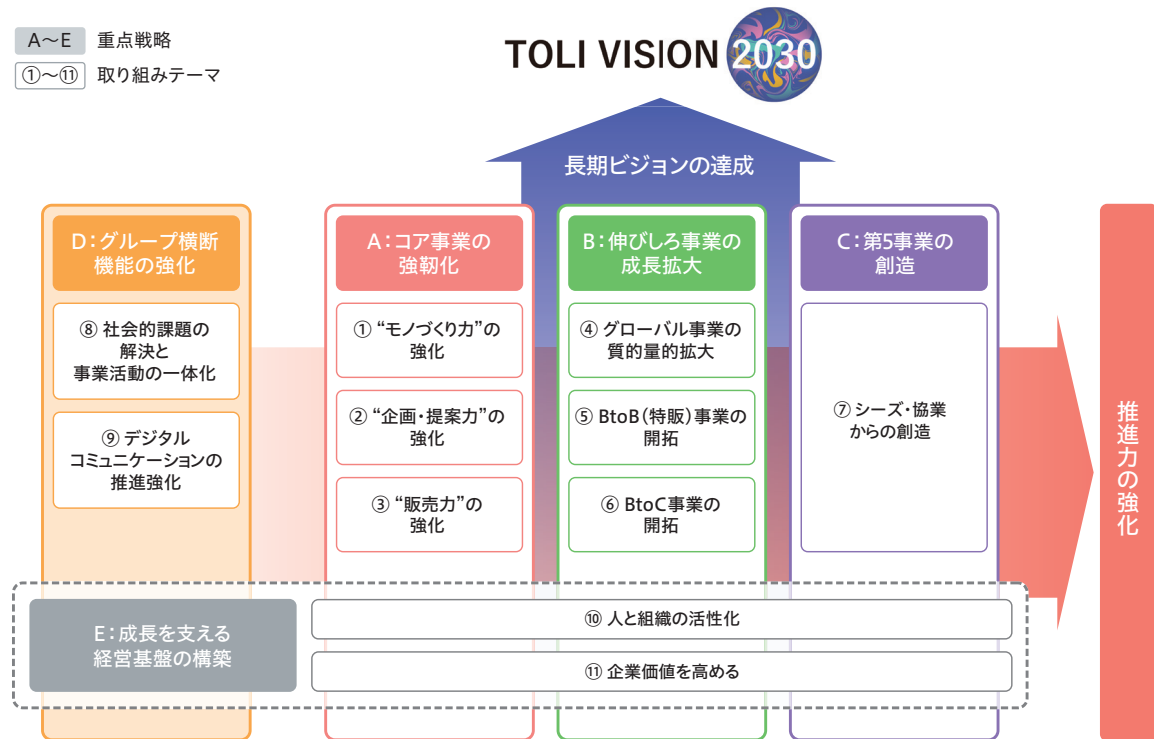
TOLI VISION 2030

ライフスタイルをデザインする企業へ

長期ビジョン達成に向けた成長イメージ



中期経営計画「SHINKA Plus ONE」



中期経営計画「SHINKA Plus ONE」おもな進捗報告

重点戦略 A: コア事業の強靱化

A-① “モノづくり力”の強化

サプライチェーン強化策の一つとして、川上技術内製化への取り組みを推進しています。2021年度には、タイルカーペット用原着ナイロンの紡糸設備が本格稼働し、タイルカーペット主力製品に用いるナイロン糸の一部内製化が進みました。今後も更なる技術革新や、製品の安定供給に向けた取り組みを強化していきます。(P.25)

重点戦略 B: 伸びしろ事業の成長拡大

B-⑤ BtoB(特販)事業の開拓

新たな市場開拓として、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構(以下、Vリーグ機構)と共同開発したバレーボール競技専用のフロアマット「コネクトマット」は、「2021-22 V.LEAGUE」の一部試合で採用されました。体育館へのスピーディーな敷設と繰り返し使用が可能で、各チームの監督や選手からも高評価をいただき、2022年10月開幕の「2022-23 V.LEAGUE」においても採用が決定しました。今後は競技シーズン終了後に回収し、新たな床材にリサイクルする取り組みに注力し、Vリーグ機構のサステナブルな取り組みにも貢献していきます。

重点戦略 C: 第5事業の創造

C-⑦ シーズ・協業からの創造

持続的成長の実現に向けては、ビニル系床材・カーペット・壁装材・カーテンに次ぐ第5事業の創造が不可欠です。現在、産学、産産連携でさまざまなテーマについて研究を進めています。いずれのテーマも単独では成し得ず、当社が持つ技術シーズと外部技術やアイデアを結びつけ、既存商品のレベルアップと、新たな価値の創造を目指していきます。そして、その中から小さくても成功事例を積み重ね、第5事業の創造へと繋げていきます。

重点戦略 D: グループ横断機能の強化

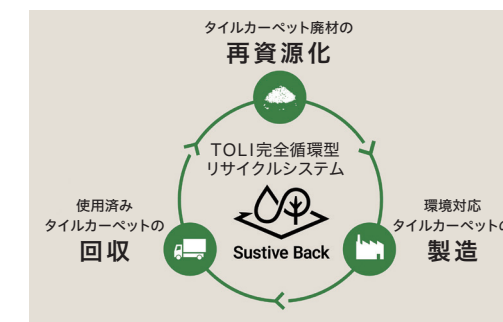
D-⑧ 社会的課題の解決と事業活動の一体化

当社グループでは、循環型社会の実現に向けて、自社製品のリサイクルに取り組んでいます。2021年度は使用済みタイルカーペットを100%リサイクルする技術を開発し、「TOLI完全循環型リサイクルシステム」が本格的にスタートしました。(P.17)

重点戦略 E: 成長を支える経営基盤の構築

E-⑩ 人と組織の活性化

従業員とのエンゲージメント向上を目的として、社内公募型での提案活動「NexTプロジェクト」が2020年度に始動しました。すでに3つのテーマについてのプロジェクト活動を通じて、経営層に提案がなされました。2022年発売のコンポジションビニル系タイルのリブランディングは、この「NexTプロジェクト」からの提案であり、新たな視点で魅力的なブランドとして生まれ変わりました。(P.24)



TOLI完全循環型リサイクルシステム